

# 令和4年度 第76回千葉県中学校総合体育大会 バasketボールの部 総評

第76回千葉県中学校総合体育大会Basketボールの部は、八千代市民体育館をメイン会場として7月28日・29日・30日の3日間で行われた。

男子のベスト4には、八千代松陰（八千代）、銚子（東総）、真砂（千葉）、ちはら台南（市原）が進出した。

準決勝の八千代松陰と銚子の対戦は、前半、八千代松陰は、リバウンドからの速い展開で得点を重ね、銚子は#17鈴木木のドライブを起点に攻撃。銚子は#17鈴木木のドライブ、#5辻谷の速攻、#16加瀬の3ポイントなどで連続得点。後半、八千代松陰は、キックアウトからの3ポイントで逆転すると、ハンドオフから#7千葉のレイアップ、#6宮野のドライブなどで連続得点。銚子も#4田中、#17鈴木木の1on1で食い下がる。八千代松陰は落ち着いたボール運びから、リードを守り試合終了。八千代松陰が決勝にコマを進める。

真砂対ちはら台南の対戦は、前半、ちはら台南がプレスディフェンスから流れをつくり、#4谷本のドライブからのジャンプシュートを決める。対する真砂は#10池田のドライブ、#8子安の3ポイントを中心に得点を重ねる。後半、真砂は#6石川の3ポイントで先制。ちはら台南は#6栗原が攻守ともに活躍を見せ、流れを作ろうとするも、真砂は慌てずに#10池田を中心に落ちたオフェンスを展開。ちはら台南は3ポイントで食い下がるも、そのまま試合終了。真砂が決勝にコマを進めた。

八千代松陰対真砂の男子決勝戦、両チームハーフコートマンツーマンからスタート。前半序盤、八千代松陰#7千葉の3ポイントや1on1で主導権を握る。対する真砂は#10池田の力強いプレーで対抗するも、八千代松陰の粘り強いディフェンスで流れをつかめない。しかし、真砂は速い展開のオフェンスから#8子安、#10池田の連続得点で追い上げを見せる。八千代松陰も#4田中、#5小針のドライブで得点するも、真砂が#6石川の2連続3ポイント逆転に成功。後半、一進一退の展開のまま試合は勝負の第4Q、真砂は#4キャパティエが3ポイントを決め、その差を広げようとするも、八千代松陰は#7千葉のドライブ、#5小針のジャンプシュートで逆転に成功。さらに#4田中、#7千葉の連続得点で突き放しにかかる。真砂も最後まであきらめずオールコートでプレッシャーをかけ、真砂#5大野のスティールからファウルをもらいフリースローは2本成功、これが決勝点となり、真砂が優勝を決めた。両チームとも千葉県代表として胸を張って関東・全国大会に挑んでもらいたい。

女子のベスト4には、選手権を制した昭和学院（市川・浦安）、習志野一（習志野）、翔凜（君津）、七林（船橋）が進出。

準決勝、昭和学院と習志野一の対決は、昭和学院が#5藤松のドライブやゴール下の得点で流れをつかむ。習志野一は昭和学院のディフェンスのプレッシャーの前になかなか得点できない。しかし、習志野一#4熊倉のドライブ、#6岩瀬のジャンプシュート、#14小山のドライブなどで攻める。習志野一は厳しいディフェンスで食い下がるも、昭和学院は高さを生かしたゴール下での得点を重ねる。後半、昭和学院は激しいディフェンスからの速攻やドライブで得点を重ねる。習志野一は#6岩瀬の速い攻撃で得点を狙う。習志野一は合わせのプレーから#14小山のドライブ、#6岩瀬の速攻で得点し最後までボールを追い続けたが、昭和学院が落ち着いてゲームを進め試合終了。昭和学院が決勝進出を決めた。

翔凜と七林の準決勝、翔凜は#87池邊の速攻や#39高橋侑の合わせのシュートで得点を重ねる。対して七林は#4伊東、#12鈴木木のドライブや#5中尾のインサイドで得点を重ねる。後半、翔凜は#44高橋優のインサイドや#87池邊のドライブで着実に得点する。七林も#12鈴木木のジャンプシュートで得点。七林は#14中北のスリーポイントなどで一気に得点し、残り5分で同点、直後に#4伊東のスリーで逆転。翔凜も#44高橋優のドライブで得点し、残り6秒、翔凜の#44高橋優がレイアップを決め同点、延長戦へ。延長戦、翔凜は#39高橋侑のスリーで1点差に。しかし、七林は#4伊東の連続得点。七林が決勝進出及び関東大会の出場権を獲得した。

昭和学院対七林の決勝戦、前半、昭和学院は#5藤松のジャンプシュートで先制すると、#7山本、#5藤松がゴールに向かって果敢にドライブ。七林は#6篠塚の3ポイントシュート、#12鈴木木のドライブで応戦。さらに七林は#4伊東の粘り強いリバウンドからの得点でつなぐも、昭和学院は#7山本のジャンプシュートや#5藤松のドライブが効果的に決まりリードを奪う。第2Q、昭和学院は#4石井が立て続けにシュートを沈めると、#8山崎のレイアップ、#7山本の3ポイントで引き離す。七林も#5中尾の3ポイントがよく決まり、後半へ。後半、追いかける七林は#12鈴木木、#6篠塚が3ポイントを沈めるのに対し、昭和学院は高い位置でボールを奪い速い展開から流れを作る。昭和学院は#8山崎の3ポイントやドライブがよく決まり、リードを広げる。第4Qに入っても、昭和学院の猛攻が続くも、七林の選手たちはあきらめることなくボールに食らいつく。試合はそのまま昭和学院のリードで終了。昭和学院は2年連続の栄光を手にした。

男女ともに上位2校は、8月8日から東京都世田谷区で開催される関東大会に出場する。関東大会では上位4校が全国大会出場の特権を得られる。激戦区関東を勝ち抜き、全国大会への切符を手にしてほしい。なお、関東大会に関する詳細は、組合せ決定後、千葉県Basketボール協会U15カテゴリー部会のウェブサイトに掲載を予定している。

最後に、新型コロナウイルス感染症予防に万全を期して大会準備・運営をしてくださった八千代支部、柏支部、山武支部、印旛支部、千葉支部、市川・浦安支部の関係者の皆様、駐車場の案内整理をはじめ、係、TOなどに御協力いただき、円滑に大会を運営していただいたことに、一同感謝申し上げます。

## 【男子結果】

## 【女子結果】

優勝	千葉市立真砂中学校（関東大会出場）	優勝	昭和学院中学校（関東大会出場）
準優勝	八千代松陰中学校（関東大会出場）	準優勝	船橋市立七林中学校（関東大会出場）
第3位	市原市立ちはら台南中学校	第3位	習志野市立第一中学校
第3位	銚子市立銚子中学校	第3位	翔凜中学校